

# メールホスティングシステム, ECCCS教職員 メールユーザ向けアンケート (最終報告)

情報基盤センター

[<ecc-support@ecc.u-tokyo.ac.jp>](mailto:ecc-support@ecc.u-tokyo.ac.jp)

2018-11

# 概要

---

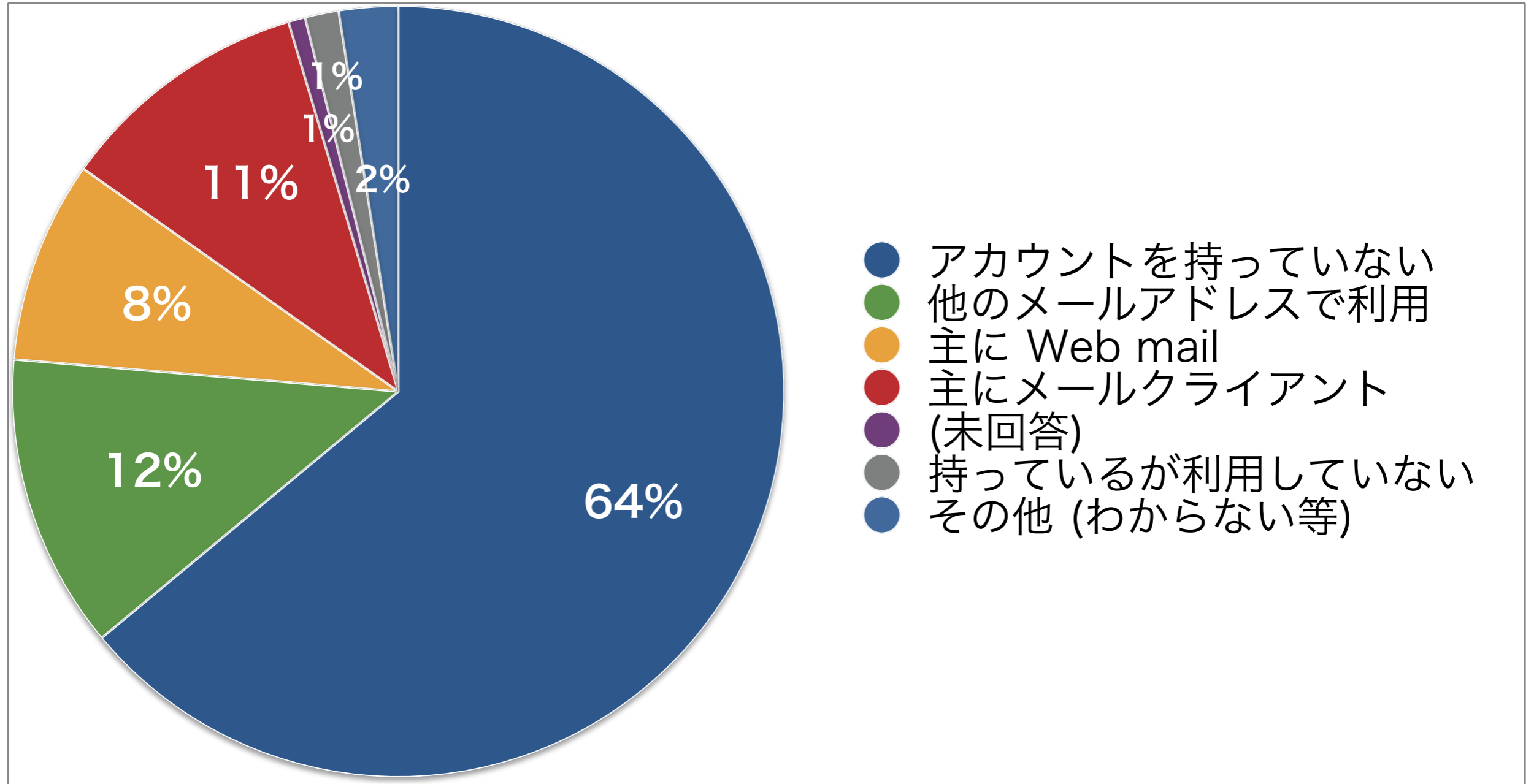
- ・ 最終的な回答者は283名。うち、ECCS教職員メール利用者(E) 89名、メールホスティング利用者(M)255名、両サービスの利用者やドメイン管理者等で本人は利用していない場合もあり)
- ・ E は転送/Web mail/メールクライアントの利用が概ね同程度。Mは半分以上がメールクライアントでの利用。
- ・ 現行のメールアドレスでのメールを送信を今後希望するユーザは、Eで25%程度、Mは40%程度。
- ・ メンテナンス時間として土日・休日を求める回答が40%程度
- ・ メールプールが10GB程度あれば75%程度の利用者の要望に応えられる。
- ・ メーリングリストのメールアドレスが同じであることを求める回答が、変更しても良いとの回答よりもやや多い。
- ・ (メールシステム側で) SPAM を受け取らない設定にして欲しいとの回答が40%以上。
- ・ 国外も含めたクラウド化で良いとする回答が約60%

# 概要 (続き)

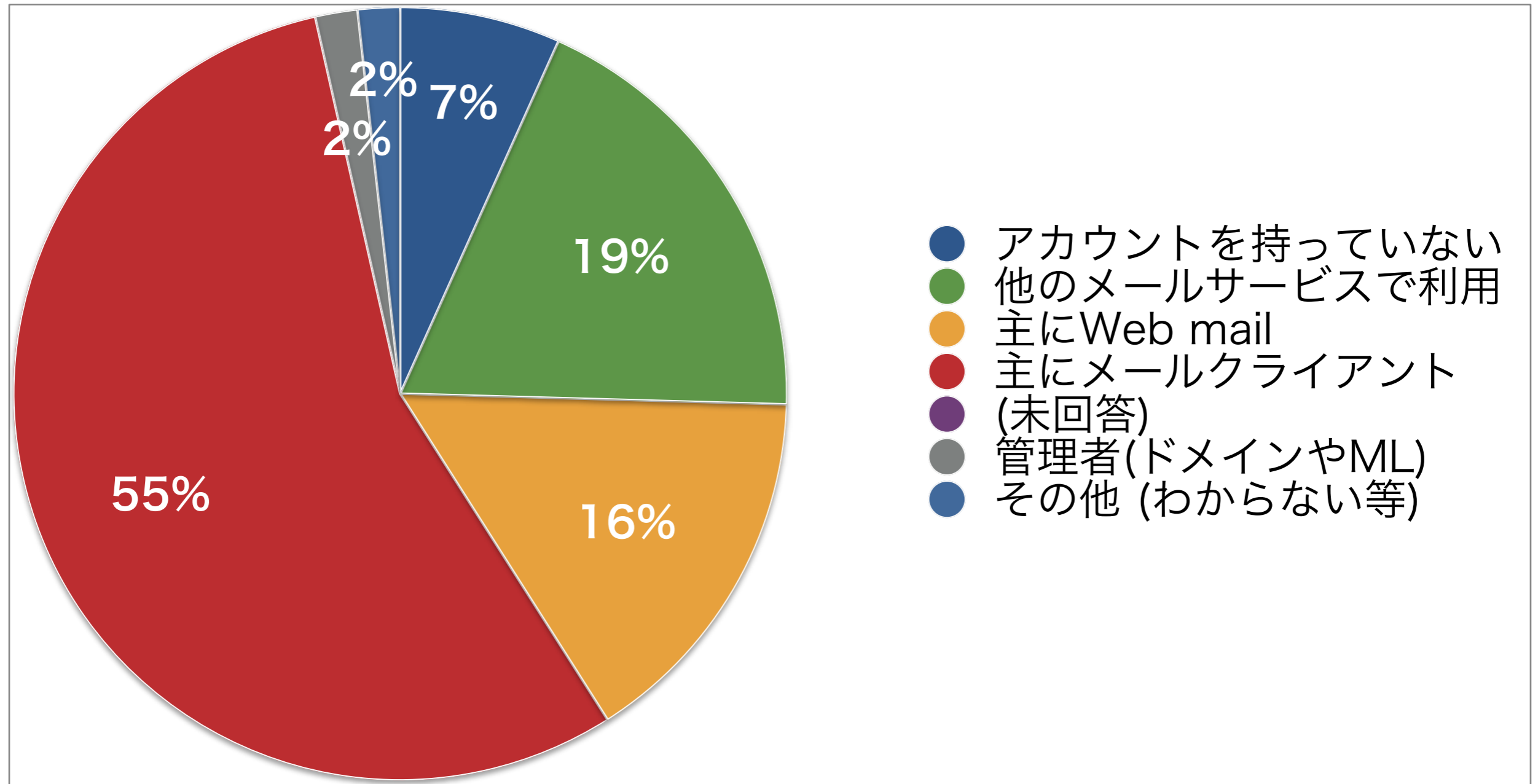
---

- ・ セキュリティや情報漏洩に対する懸念あり.
- ・ 現行システムの SPAM フィルタの設定方法等, 迷惑メール対策への強い不満が見られる.
- ・ 容易なファイル交換方法, @u-tokyo.ac.jp のような短いメールアドレスへの変更等々の要望もある.
- ・ 本アンケート自体に関して, 用語の説明不足やクラウド化のメリット・デメリットが分かり難い, 英語の説明が欲しい等の意見がある.

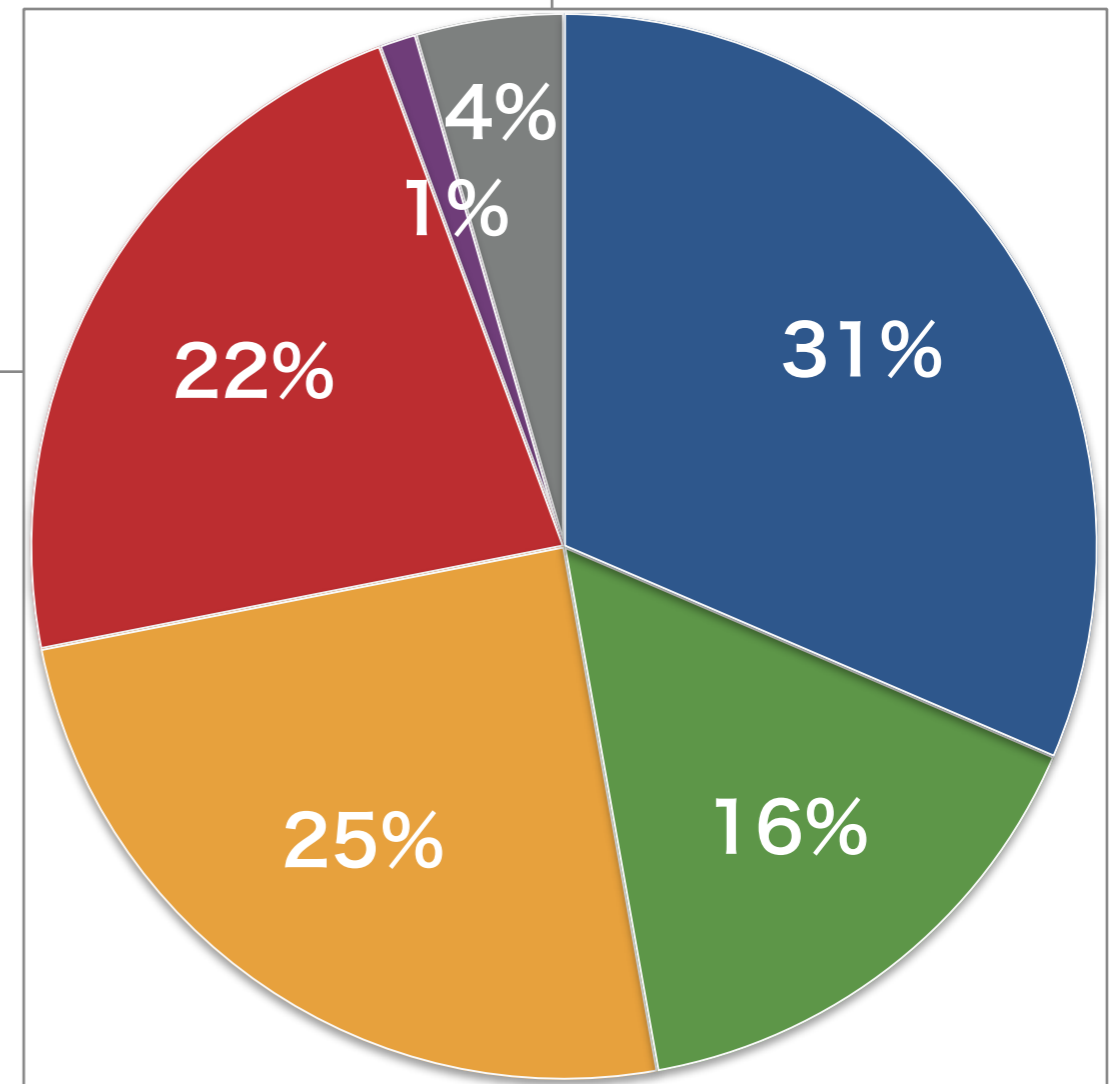
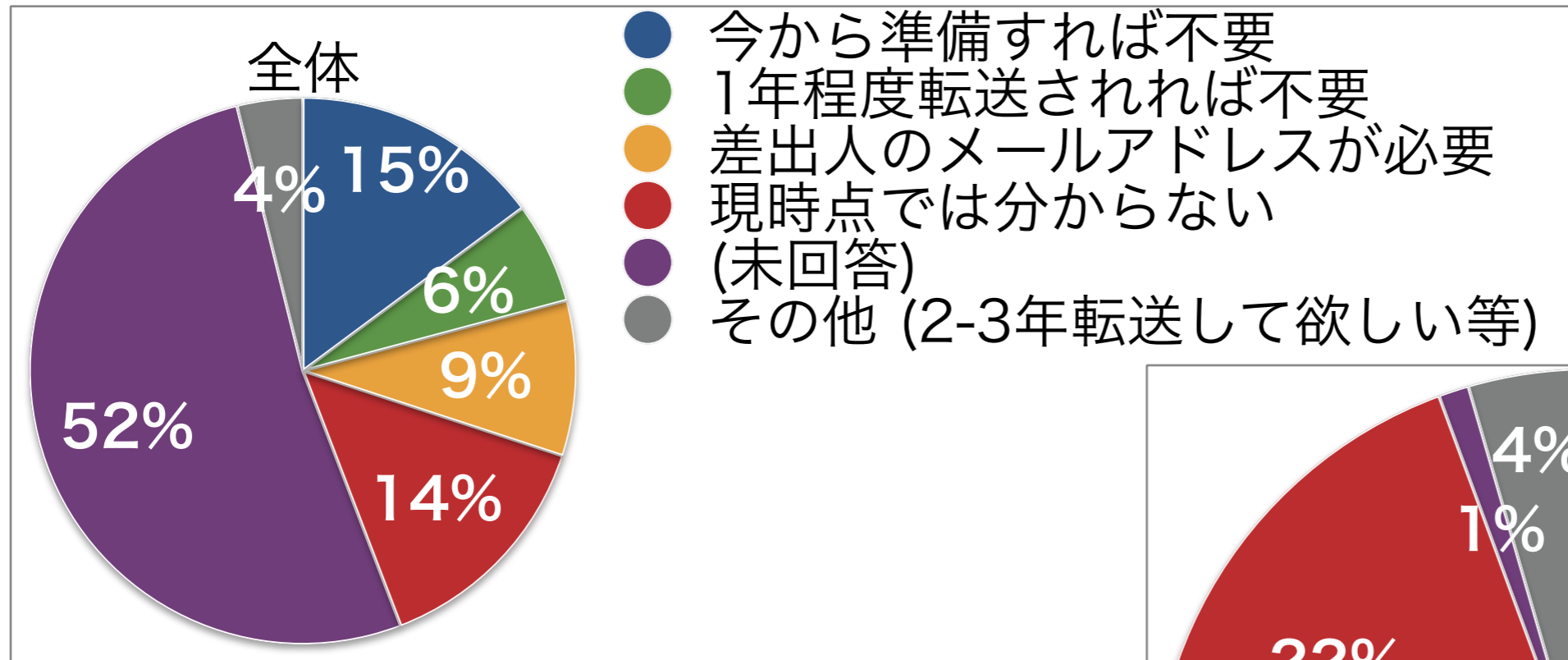
# 質問: ECCS教職員メール (\*@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp) を利用していますか? (選択他)



# 質問: メールホスティングシステムを利用していますか? (選択他)

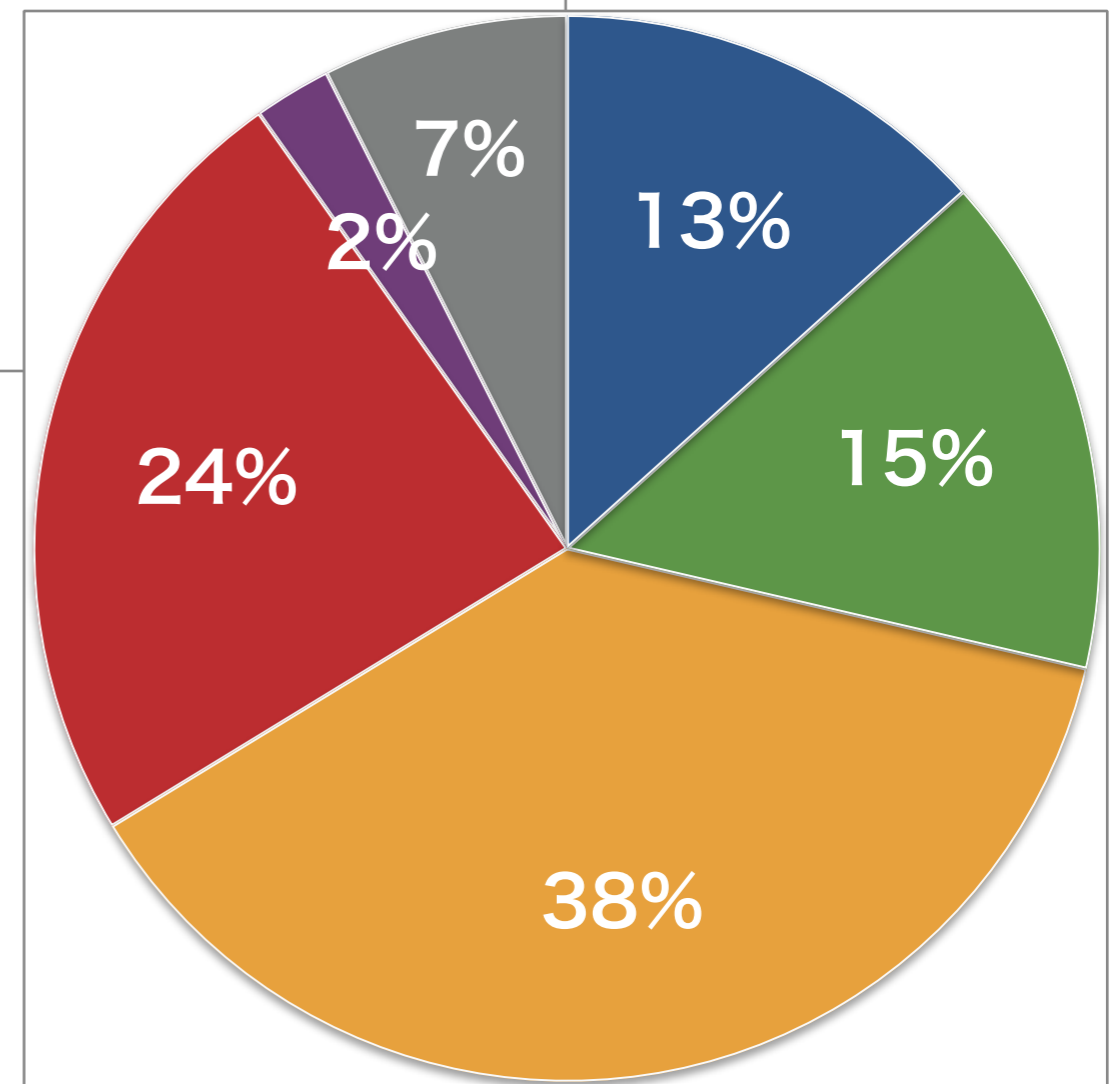
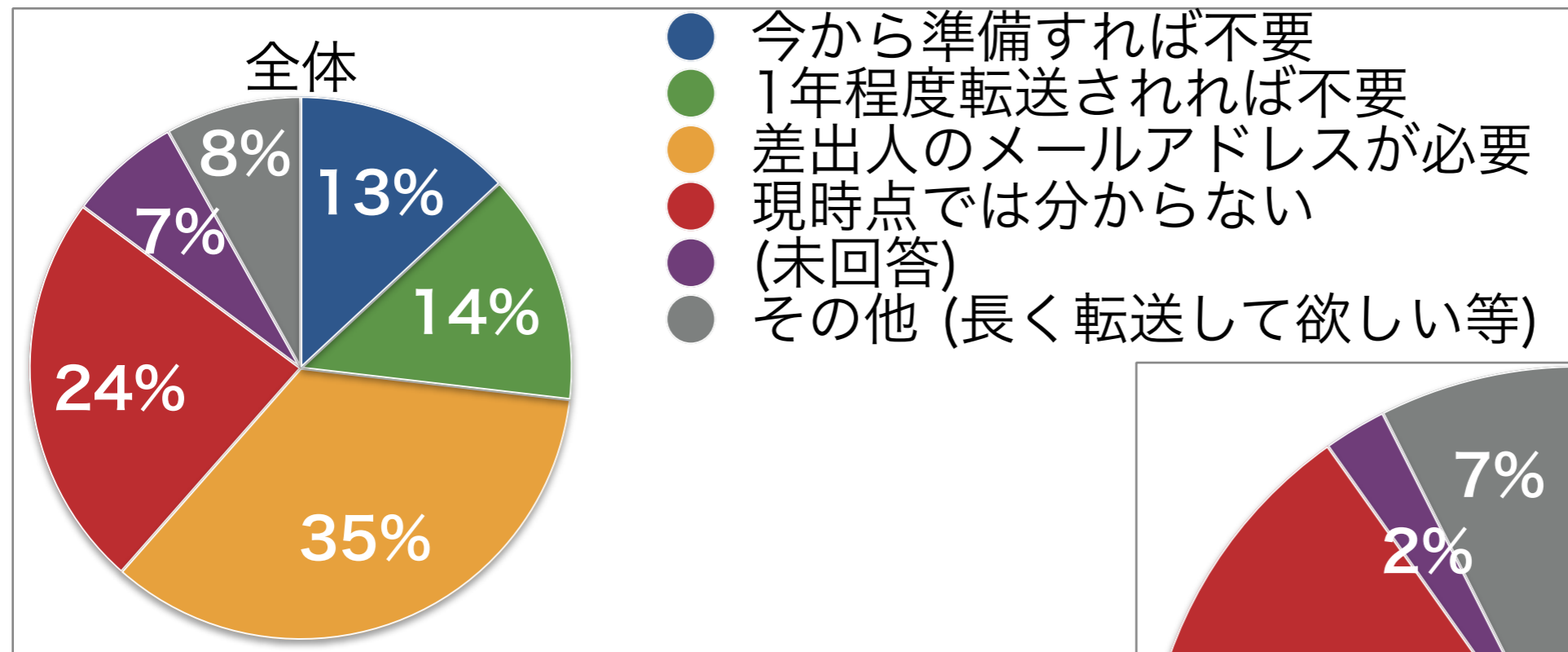


# 質問: ECCS教職員メールが2020年8月以降も必要か？ (選択他)



ECCS教職員メール  
利用者 (転送・Web  
Mail・メールクライ  
アント) (89名)

# 質問: メールホスティングが2020年8月以降も必要か？(選択他)



メールホスティング  
利用者 (転送・Web  
Mail・メールクライ  
アント) 255名

# 質問: メールホスティングが2020年8月以降も必要か？(その他の意見)

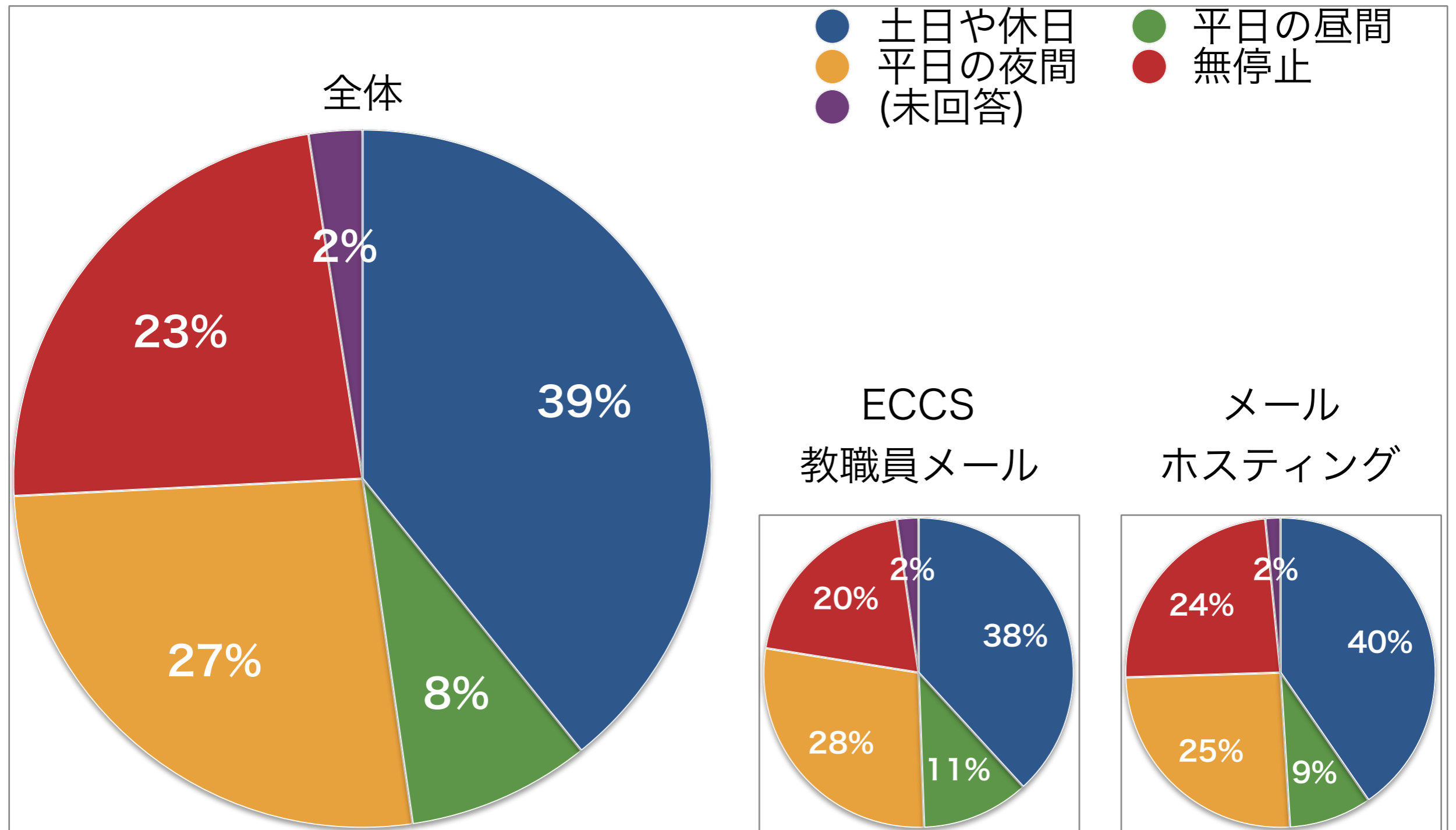
---

- ・ 研究科全体の各種メーリングリストや各担当のメールアドレスとして使用しており、メールアドレスが変わると業務上大きな不都合があり、また、**殆どのML管理を1担当**で行なっているため、移行に時間がかかる。
- ・ 他クラウドへの移行も含めて検討中
- ・ 現在のメールアドレスが**各種Webサービスのユーザーアカウント**にもなっており、それを全て新しいアドレスに変更するのは1年でも不可能。転送が3年以上は確保されないとトラブルになると思う。
- ・ これまでに構築した人的ネットワークを維持するためにも必須。
- ・ 研究室の院生、スタッフのメールアドレスに必要。派遣雇用の者もあり。
- ・ 教職員個人用だけでなく、**研究チーム単位、シンポジウムなどイベント単位の専用メールアドレスも簡単に作ることができるのならば**、移行してもよいです。

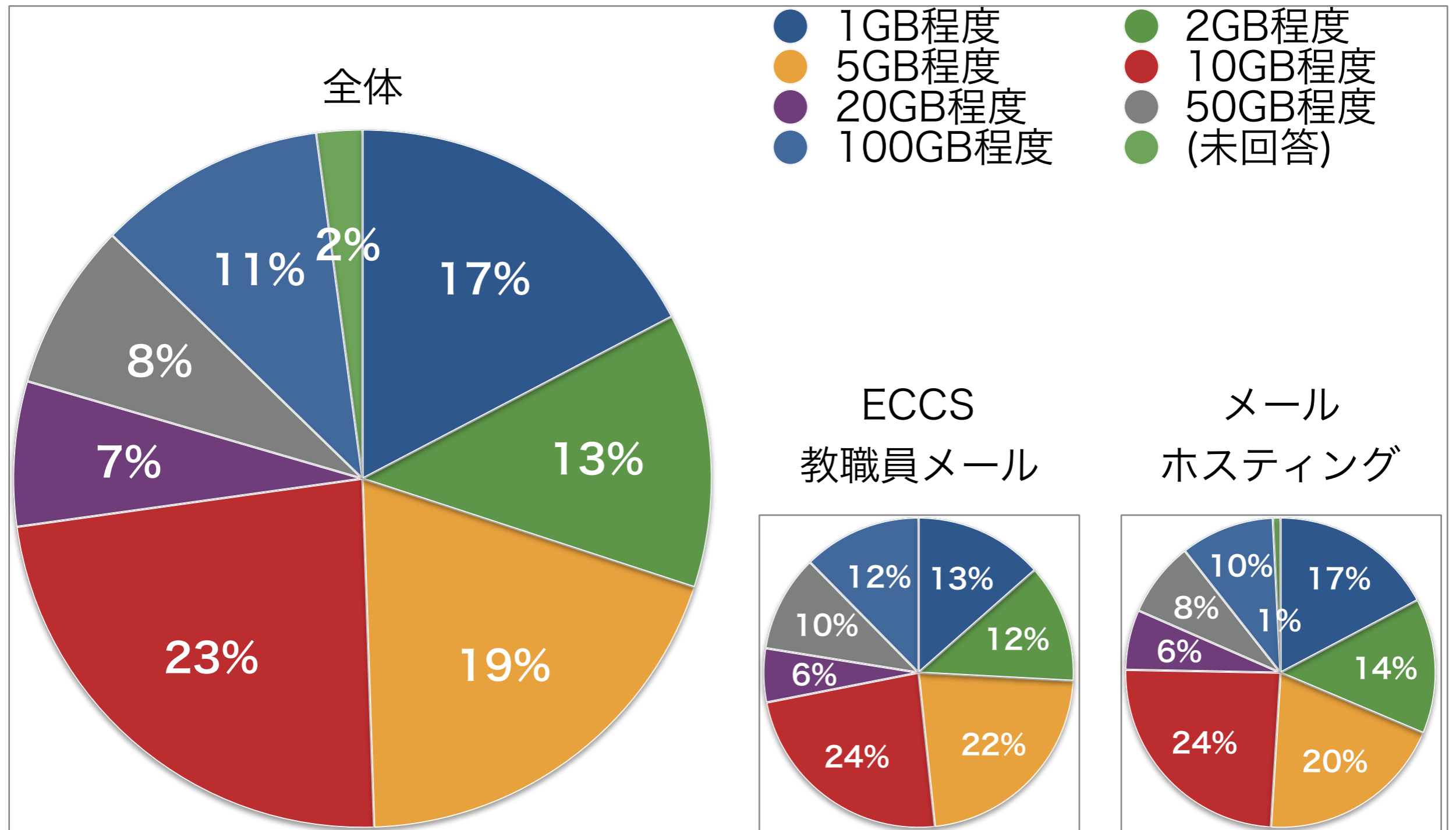
※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。



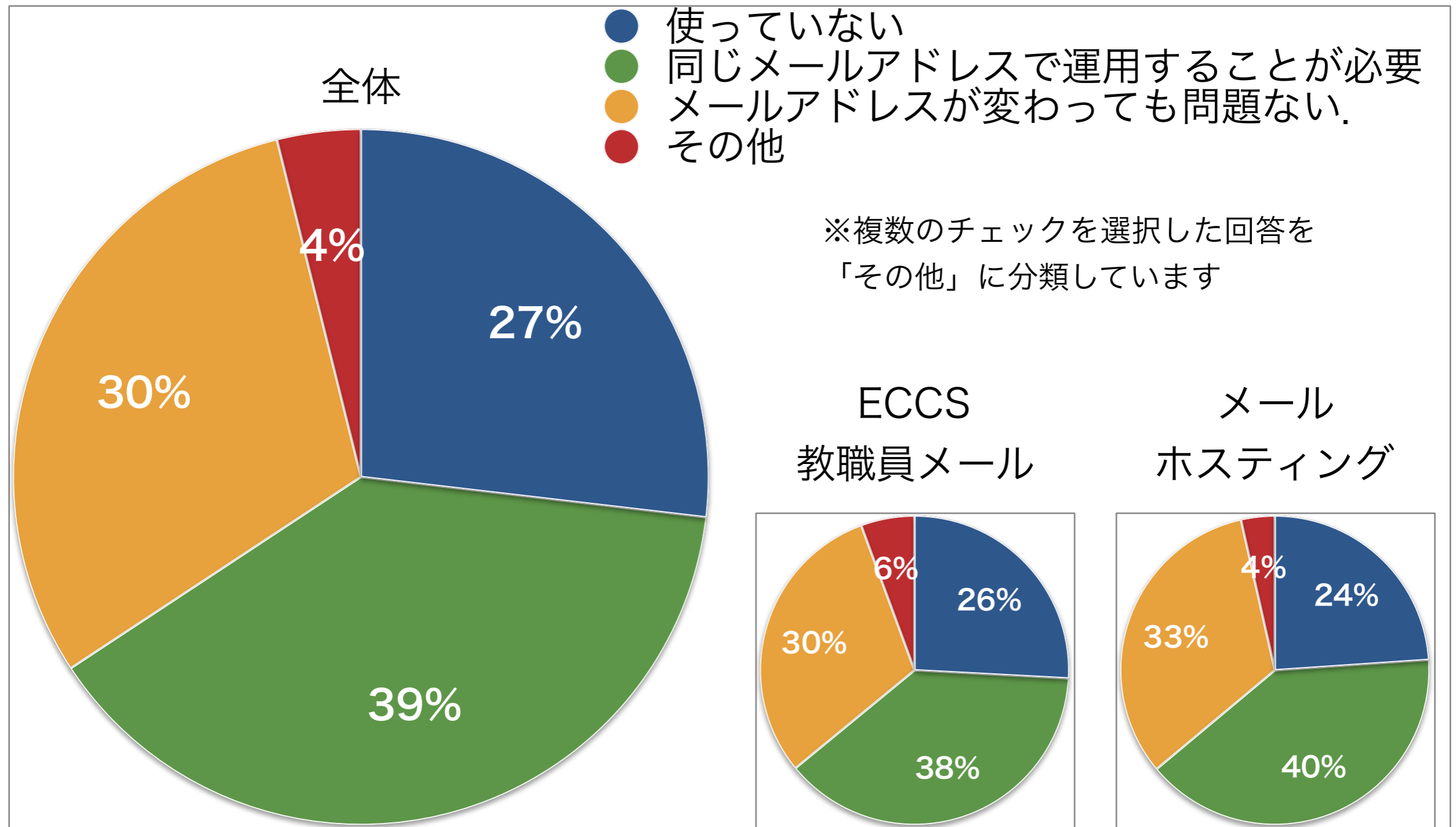
# 質問: メンテナンスの希望時間帯 (選択)



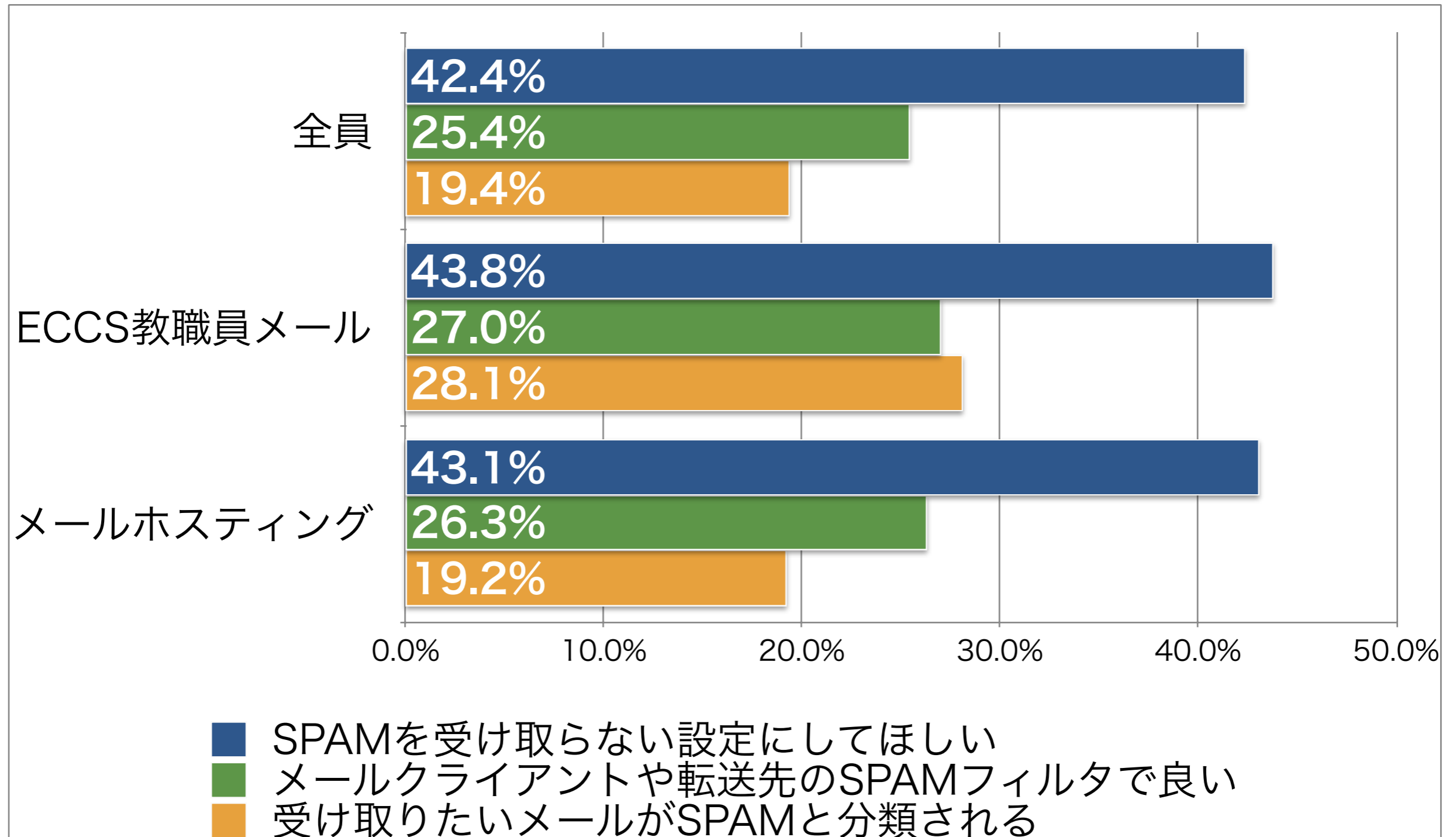
# 質問: メールスプールの容量 (選択)



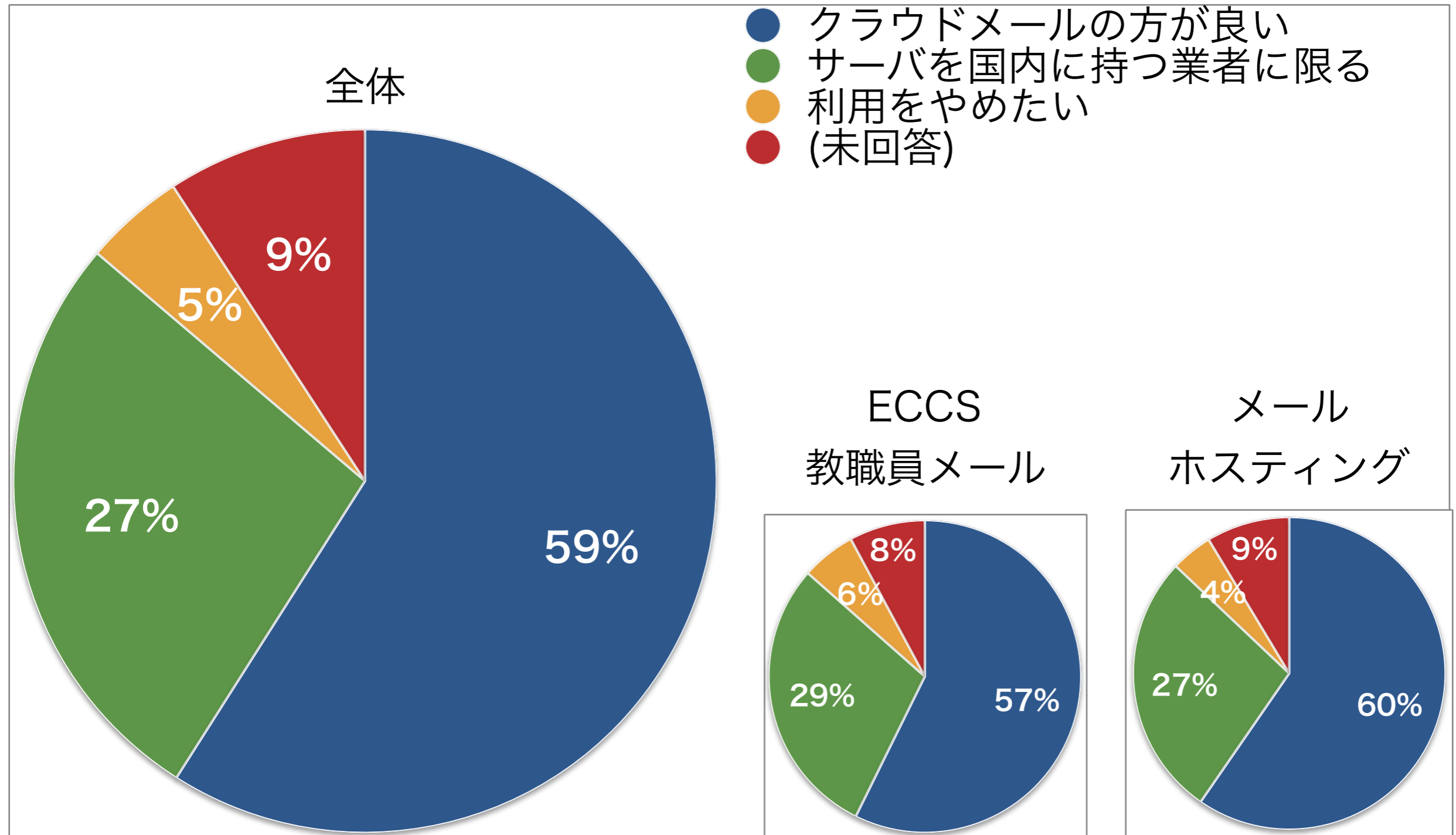
# 質問: メーリングリスト (選択)



# 質問: SPAM (複数選択)



# 質問: クラウド化



# 質問: クラウド化への意見 (肯定的意見 1)

---

- ・ 「クラウド化の是非」の選択肢、「機密性のある情報を扱って”いない”からクラウド」というのはちょっと違和感があります。**今や、クラウド事業者 (GoogleやAWS等) のほうがセキュリティレベル高いのでは？**あれだけの第三者認証を取得するのは相当困難でしょうし、**SLAの面でも、学内で自前サーバ運用は限界**がきているように思います。(M)
- ・ **情報の輸出管理の観点で問題にならない形態でのクラウド化**を是非検討いただきたいと思います。ユーザーとして多少の費用負担の増加は受け入れ可能だと考えています。(M)
- ・ ここ最近、オンプレミス環境でのサービス停止が目立つため、**クラウド化によって、より継続的なサービス提供がされることを期待**している。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (肯定的意見 2)

---

- ・メールアドレスが変わらない, 容量が10GB程度ある, ということであればクラウド化に何も問題はない. (M)
- ・**ファイルの交換もできるようなクラウドサーバでの運用を望みます。** (M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています.

※回答の一部を示しています. センターが一部を太字にしています.

# 質問: クラウド化への意見 (中間的意見)

---

- ・クラウドを併用しつつ、メンテナンス時間を拡大することで**運用システムと技術**をある程度学内に維持することが**良いバランス**と考えます。クラウドメールサービスもいつまで現状の形態で残るか分かりません。(覇権を取るまではかなり安価だったMS-DOSやMS-WORDが数年で高額になった歴史もありますし) (E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。



# 質問: クラウド化への意見 (否定的意見)

---

- ・旧帝国大学に所属する情報基盤組織であることにプライドを持ち、自力で対処してほしい (M)
- ・クラウド化すると、サーバ障害等**外部の影響で不都合を来す懸念**があり、個人的には歓迎できない。(M)
- ・**メールホスティングの全面的クラウド化は避けるべき**。機密情報を扱わないユーザはクラウド化に移行するか、あるいはgoogle educationを使う形にするのが費用・セキュリティの両面で適切だと思う (M)
- ・古い人間なので、クラウドの信頼性、機密性には不安があります。自前（学内）での運用であればトラブルも自己責任ですし、**多少の不便（毎日定刻で2時間程度のメンテナンス）が生じたとしても、自前での運用の方がよい**のではないのでしょうか。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (移行への懸念 1)

---

- ・クラウドにしてもよいが、**現在のメールアドレスを変更するのが一番困る。**(M)
- ・事務用のメールアドレスと教員も含めた**研究科内全体用のML**は全てメールホスティングサービスで利用しており、管理も1担当が少人数で行なっているため、**メールアドレスが変わることは業務上非常に厳しい。どうしても移行するのであれば十分な準備期間が欲しい。**(M)
- ・個人的にはクラウド化は問題ないが、管理者としては、**メールアドレスの変更は先生方の反発が予想され、また設定変更に伴う支援作業を考えると大変そうだと感じる。**(特に名誉教授) (M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (移行への懸念 2)

---

- ・ ...(中略)... すべての仕事関係のメールに\*@mail.ecc.u-tokyo.ac.jpのアドレスを使ってきました。...(中略)...東大に勤務していた間に会った人から連絡が来ると予想されますので、**定年後も少なくとも数年間\*@mail.ecc.u-tokyo.ac.jpからの転送を強く希望します。**よろしくご検討ください。(E, M)
- ・ mail.eccは長年利用しており、論文などのコレスポはすべてそれになっている。そのアドレスは維持し、geccに転送するようにしていただけのありがたい。(E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (セキュリティ 1)

---

- ・サーバを国内に限る必要はないが、**機密性のある情報を扱うため、セキュリティは重視して欲しい**。また、現在使用しているアドレスのドメイン名は変えずに使い続けたい。(M)
- ・セキュリティに関するトラブルが起きた場合に、**基盤センターが責任を負うのであれば検討の余地はある**と思います。(M)
- ・サーバーを国内に持つ業者に限る、という選択肢があるのに ( ) 書きで不利になる、と書いてある、など。国内サーバーだと安全かということとそれとも違うと思います。**クラウド化するのであれば、利便性もですがやはり攻撃のされにくさやセキュリティをしっかりと検討した上で賛否を表したい**。(M)
- ・**安全な電子メールシステム**を提供していただければ、職務を果たせない。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (セキュリティ 2)

---

- ・セキュリティガイドラインに「電子メールは安全な伝達手段ではない」と書かれていることと、**実際に機密情報が電子メールサーバーに存在しないかは別問題であり、外部サーバーの利用は慎重な判断を要する**。例えば、TAが、成績等を含む電子ファイルをメール送信していないか、本当に確かだろうか。個人情報外部流出した時、批判を受けるのは東京大学である。(M)
- ・クラウドでよいのですが、**セキュリティ重視**をお願いします (M)
- ・「**電子メールは安全な伝達手段ではない**」であるならば**そもそもメールシステムを持つべきではない**のではないかと。(M)
- ・セキュリティというか**情報漏洩が一番怖い**です。また、東大の職員の分析などをされる危険性はぬぐえないと思います。

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (全学サービス)

---

- ・ 全学共通の教職員メールサービスとして位置付け、遠くない**将来に原則部局でのメール運用を不要 (ないし禁止)**する勢いで進めてほしい。(E)
- ・ **メールアドレスをもっと簡略化**することも考えて欲しい。ファイルサイズの大きなものの転送サービスも取り入れて欲しい。(M)
- ・ クラウド化とともに、**@u-tokyo.ac.jpアドレスのメールにしてほしい**。(E, M)
- ・ クラウド化したら**申請無しで学外から使えるように**してほしい。(E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (SPAM 1)

---

- ・ **SPAMの排除機能の高いシステムが良い**です。現状の自動分別機能だけではメールボックスがSPAMだらけになってしまい。検索式を工夫してしのいでいますが、システムが変わるたびその作業をするのだと思うと憂鬱です。(M)
- ・ 現状のホスティングサービス側の**SPAMフィルタが弱くて困っている**ので（突然大量にきます）そこが直るのであればおおよそのことは我慢できます。できれば現状のメールアドレスも新しいものへ転送するだけで良いので残れば良いとは思いますが。(E, M)
- ・ \* SPAMについて 現在のSPAMフィルタは自動ルールは基準が分からないので、**SPF, DKIM, RBL, SpamAssassin, ClamAV** その他の**どういうフィルタを使っているかを明確**にして頂けないでしょうか。また、プラグインで組み合わせで適用、といったことが出来るとありがたいです。(E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (SPAM 2)

---

- ・ **現在のシステムは、SPAMの設定の機能が低すぎて、とても不便です。**例えば、禁止ワードを複数登録したとします。ある学会からのメールがスパム認定されてしまうので、その学会からのアドレスを「例外処理」に設定するためには、登録している禁止ワード\*すべて\*について、その例外処理をマニュアルで行わなければなりません。...(中略)... また、明らかにSPAMであるメールであっても、自分でマニュアルで禁止ワード設定をしておかないと受信箱に届いてしまうのも面倒です。(E, M)
- ・ **spam : 受信拒否設定しても、受信できてしまうことが多々ある。** (M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。



# 質問: クラウド化への意見 (メーラ等)

---

- ・クラウド化されても、WEBブラウザだけでなくメールクライアントでも**送信可能であるよう**、お願いしたいです。(M)
- ・個人的には、**①受信メールの転送機能**、**②送信元アドレス (From) を自由に変更できるSMTPサーバー(認証はSMTP-Authなど)**、の2点のみがあれば十分です。(E, M)
- ・**メールクライアントで読む派**なので、よろしくお願ひします (M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています.

※回答の一部を示しています. センターが一部を太字にしています.

# 質問: クラウド化への意見 (その他 1)

---

- ・ 各個人に割り当てられている**容量が少なすぎる**。すぐに容量100%になってしまいます。(M)
- ・ 添付ファイルをファイル転送システムで添付しなければならないのは非常に時間が取られ利用しにくい。...(中略)... **添付ファイルが安全で簡単に添付できるような方法を検討していただきたい**。(M)
- ・ 機密性のある情報を暗号化せずにメールで扱うことはないのが原則とあるが、これを徹底させるために送受信可能なファイルに制限がかかるなどの利便性を欠く変更があると面倒。**ファイルに対するパスワードの自動生成・送信がされるなど、特別こちらでの作業が増えないようにして欲しい**。(M)
- ・ ログの管理画面：並べ替えのキーが一つしかなく使いづらい。**ログがダウンロードできるとよい**と思う。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

## 質問: クラウド化への意見 (その他 2)

---

- ・これまでのメールアドレスでメールを送信したい、という要望は高いものと思われる。 \* **UTokyo Account に紐づかない形のメールアドレスも発行できるほうが良い。** \* 迷惑メール、ウイルスメール、標的型攻撃などのメールを受け取ったときに、通報できる機能があると良い。 \* メールリングリスト機能は、学内外へのお知らせ的な送信への利用と、受付業務に使うための利用が多く、引き続きそのような利用ができるほうが良い。また、受付業務用メールアドレスを差出人としてメールを出したいという要望は多い。(E, M)
- ・ \* SLAについて 事前に予告をして頂けるのであれば、平日夜、休日と求めているだけで大丈夫ですが、最近のメールホスティングサービスは予告したメンテナンス時間を超えてサービスが止まったり、事前の予告がないのに止まったりすることがありました。 **サービスの安定運営**をお願いしたいです。(E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (その他 3)

---

- ・ **システムがわかりにくく、新規で入る教職員や学生に説明や設定が必要になり不便。** 詳しい人間が研究室内にいないと業務まで支障をきたしてしまう。簡略化して頂けるなら何でも大歓迎です (M)
- ・ クラウド事業者が、電子メールを(同じ業者が)利用することを宣言している場合、利用者本人はそれに同意していることになるが、**やりとりする相手にも(同様の)同意を取り付けないと「第三者提供」にあたるのではないか。** その場合、相手に同意を取り付けるのは利用者の責任で行うことになるかと考えるが、現実的か。(管理者)
- ・ ... **GoogleのG Suiteに移行した。** アカデミックライセンスならば無料で使えるので、今後**維持費がこれ以上高くなる場合はホスティングサービスの使用をやめて全てG Suiteに移行するつもり**である。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (アンケート自体 1)

---

- ・クラウド化についての設問・選択肢 (クラウド化に問題ない、このままは困難、機密性のある情報は扱っていない、等) がやや恣意的で、**「クラウド化に問題・異論はない」という回答の選択肢しかないような感じで、答えにくかったです。** (M)
- ・本アンケートは選択肢に回答として適当なものが含まれない設問が多く、**回答者の見解が適切に反映されると言いがたい。** 設問および選択肢を良く吟味してから実施すべき。このようなアンケートの結果を元に何らかの意思決定がなされることを憂慮する次第です。 (M)
- ・ **It's better to provide English version of this questionnaire because it's very important.** (E, M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (アンケート自体 2)

---

- ・クラウド化によって何がどう変わるのか、説明が全く不十分だと思います。このページの冒頭の「クラウド化について」という文章も何を言いたいのかさっぱりわかりません。詳しい説明もないままにこのようなアンケートを行うことはあまり意味がないように思います。(M)
- ・ドメイン申請者・管理者はこのアンケートに答えるようにと依頼され回答いたしました。が、そもそも「メールホスティングシステム」や「ECCS教職員メール」とだけ言われても**具体的にどのシステムのことを指すのかわかりません**。(以下省略) (管理者)
- ・回答の選択肢が少なく回答しづらい。すべての質問にその他があるとよい。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (アンケート自体 3)

---

- ・ このアンケートはクラウド化することはほぼほぼ決まっていますその方向で進むためのものですか? ...(中略)... 入試関係の話もメールではやり取りするためセキュリティもきちんとしていないと困るのですが、セキュリティも大丈夫ということなら、問題ないのだろうなと思います。しかし、**大前提として、クラウド化・クラウドメールとすることの意味が分からない**ので、何ともいえません。...(中略)... アンケートするなら、一般人にも分かるように、きちんと語句の説明を入れて実施してください。...(M)
- ・ **クラウド化によるユーザー側のメリットを示していただけると議論しやすい**かと思います。例えば「浮いた費用で他のサービスを拡充できる」など。(E)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。

# 質問: クラウド化への意見 (アンケート自体 4)

---

- ・取りうる解決策が限られていることは理解しているが、それでも、**回答選択肢が非常に限定的かつ恣意的**であり、回答者の意向を適切に示すものではない。客観的なアンケートとは到底認められない。(M)

※ECCS教職員メールの利用者には "E", メールホスティングの利用者には "M" を付けています。

※回答の一部を示しています。センターが一部を太字にしています。